

法人（事業所）理念		子ども一人ひとりの育ちを大切に、安心してできる環境の中でその子らしさを伸ばします 家庭や地域とのつながりを大切にしながら、子どもと家族が前向きに暮らしていける支援を行います			
支援方針		1. 一人ひとりの発達段階や特性を丁寧に把握し、その子に合った支援を行います。 2. 安心して過ごせる人的環境を整え、情緒の安定を支えます。 3. 遊びや日常生活の体験を通して、出来ることや解ることを少しずつ増やします。 4. 健康・生活・運動・感覚・認知・行動・言語・コミュニケーション・人間関係・社会性の5領域を関連づけながら総合的に支援します。 5. 子どもの気持ちや意思表示を大切に、伝わる喜びや人と関わる楽しさを育てます。 6. 保護者との対話を大切に、家庭での様子や困りごとを共有しながら一貫した支援につなげます。 7. 保育所、幼稚園、認定こども園などの関係機関と連携し、移行や地域参加を支えます。 8. 社員研修や事例検討、振り返りを継続し、支援の質の向上に努めます。			
営業時間		8 時 30 分から 17 時 30 分まで		送迎実施の有無	（あり） なし
		支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	・登園から降園までの生活リズムの安定を重視し、朝の受け入れ時には体調や情緒面の変化を丁寧に確認する。 ・必要に応じて休息の確保や活動内容の調整を行う。 ・手洗い、うがい、排泄動作、衣服の着脱、整理整頓などの基本的生活習慣については、保育の流れに沿って視覚支援や手順提示を活用し、発達段階や特性に応じて身につけられるよう支援します。 ・お弁当、おやつの時間においては、姿勢保持や感覚特性に配慮しながら食への興味や意欲を育み、楽しい雰囲気の中で健康的な食生活の形成を図る。 ・保育室の環境を活用し、粗大運動と微細運動の双方をバランスよく経験できるよう支援する。			
	運動・感覚	・マット運動やサーキット遊び、ボール遊び、リズム遊びなどを通して、姿勢保持、バランス感覚、力加減、身体イメージの形成を促す。 ・描画活動、折り紙、ブロック遊び、操作玩具などを活用し、手指の巧緻性や目と手の協応動作の発達を支援する。 ・感覚過敏や感覚鈍麻が見られる児童に対しては、音量や照明、教材などの環境調整を行い、安心して活動できる環境を整備する。 ・保育園、幼稚園、認定こども園などの関係機関と連携し、日常生活場面における運動面、感覚面の課題に対して継続的に支援する。			
	認知・行動	・一日の流れを基盤としながら、年齢や発達段階に応じて、数・色・形・大小・順序などの認知課題や、ルール理解を促す遊びを取り入れる。 ・写真カードや絵カード、スケジュールボードなど活用して活動の見通しを示し「いつ・どこで・何を・どのように行うのか」を分かりやすく伝えることで、不安や混乱の軽減を図る。 ・行動面においては、望ましい行動を具体的に言語化して評価し、切り替えや待機が苦手な児童に対しては、タイマーや合図を活用しながら成功体験を積み重ねられるよう支援する。 ・保育所などで見られる行動上の課題について関係機関と情報共有を行い、環境調整や予防的支援を実施する。			
	言語 コミュニケーション	・日常の保育活動における挨拶ややり取り、絵本の読み聞かせ、手遊び、ごっこ遊びなどを通して、言葉の理解と表出を促進する。 ・発語が少ない児童に対しては、視線、指差し、ジェスチャー、写真カード、絵カードなどの多様なコミュニケーション手段を活用し「伝わった」という成功体験を積み重ねられるよう支援する。 ・語彙の拡大や簡単な文章表現については、遊びや生活場面におけるモデル提示と継続的なやり取りを通して、無理なく習得できるよう支援する。 ・保育所などでの集団生活において困り感が生じやすい場面について情報共有を行い、伝え方や支援方法を検討しながら、家庭と連携して支援を行う。			
	人間関係 社会性	・同年代の子どもとの自然な関わりが多い保育環境の特性を活かし「見る」「まねる」「一緒に行く」「役割を担う」といった経験を積み重ねる。 ・朝の会、集団遊び、当番活動、簡単なルールのあるゲーム、共同制作などを通して、「順番を待つ」「貸して」「どうぞ」「ありがとう」といった基本的な社会性や人間関係スキルの習得を支援する。 ・トラブルが生じた際には、まず児童の気持ちを受け止めたうえで、絵カードなども活用しながら相手の気持ちを理解できるように支援し、適切な伝え方や解決方法を一緒に考える。			
家族支援		・保護者と日々の様子を共有し、家庭での関わり方を一緒に考えます。 ・子どもの育ちや特性を伝え、家庭で安心して関わられるよう支えます。 ・困りごとや不安を丁寧に聞き取り、家庭に応じた助言を行います。 ・家庭と事業所での支援の方向をそろえ、一貫した支援に繋がめます。		移行支援	・移行先と情報を共有し、安心して次の環境へ繋がるよう支援します。 ・子どもの特性や配慮点を整理し、移行先へ丁寧に引き継ぎます。 ・保護者や関係機関と連携し、円滑な移行に向けた準備を進めます。 ・新しい環境への不安に配慮し、見通しを持てるよう支援します。
地域支援・地域連携		・相談支援専門員や関係機関と情報を共有し、支援の連携を図ります。 ・保育者や医療機関と連絡を取り合い、必要な支援を調整します。 ・関係機関との役割を確認し、子どもに合った支援体制を整えます。 ・地域の関係者と継続して連携し、安心してできる支援に繋がめます。		職員の質の向上	・職員研修を継続し、支援に必要な知識と技術の向上を図ります。 ・事例検討を通して支援を振り返り、よりよい対応につなげます。 ・社員間で情報共有を行い、一貫した支援の提供を目指します。 ・自己評価と改善を重ね、支援の質の向上に継続して努めます。
主な行事等		12月…クリスマス会 月1回…遠足（片道30分程度）			